

中村内科小児科医院便り 2024年10/11月

お知らせ

- 10月より小児科専門医（金曜担当：中村幸嗣）が常勤医として小児科診療を毎日担当しています
- 2024/25シーズンのインフルエンザワクチン接種を10月1日より開始しています。

予約：AM10:00～診療時間内に電話か窓口でお受けしています。

今年度、荒川区に住民登録がある6か月から中学3年生までの方は助成制度（1回あたり¥2000の補助）の対象です。

• 荒川区：健康診査の受診期間について

「特定健康診査」「後期高齢者医療健康診査」「健康診査」及び「国民健康保険健康診査」の受診期間は11月30日までとなっています。

期間の後半は混み合いますので、早めのご予約をお勧めいたします。

• HPVワクチン（子宮頸がん予防ワクチン）新規予約一時停止

現在、急激な接種数の増加に伴う全国的なHPVワクチンの出荷制限により、新規の予約がお受けできない状況となっております。予約再開可能となれば改めてお知らせいたします。ご理解のほどよろしくお願いいたします。



- 10月から小児科の診療を毎日担当している中村幸嗣です。私自身が専門とする小児感染症を中心に、子どもの健康や病気に関わる情報を、幅広く、定期的にお伝えしていきたいと思います。
- Web (note)ではより詳細な内容を紹介していますので、興味のある方はぜひご覧になって下さい!!

さらに詳しく知りたい方はこちら
中村内科小児科医院note



- **5歳以降 (学童期)から思春期**では肺炎の原因となることが多い細菌です。
- 赤ちゃんから小学校入学前の乳幼児も感染しますが、他のウイルスによるかぜ (上気道炎) と同じ症状であったり、無症状のことも多いです。
- **咳などによる飛沫で感染し、感染から発症するまでの期間 (潜伏期間) は2-3週間**と長いです。ワクチンなどの有効な予防法はありません。症状のある人が咳エチケットを守ることが、数少ない対応と考えます。
- 肺炎の典型的な経過は、**熱、咽頭痛から始まり、数日遅れて咳**が増えてきて、痰も伴うようになります。鼻水が出ないことも特徴の一つです。
- **歩く肺炎**とも言われ、肺炎がみられる場合も入院が必要となることは多くはありません。酸素投与が必要、呼吸困難の症状がある場合、体力的な低下が著しいなどの場合には入院が必要となります。
- 診断のための**検査は性能や所要時間などの点で限界**があります。経過や所見などから**臨床診断**を行うことも多い感染症です。
- 治療：**肺炎には主にマクロライド系抗菌薬**が用いられ効果も証明されていますが、かぜ症状や気管支炎への効果や感染力への効果はよく分かっていません。熱や咳は長引く感染症ですが、自然治癒もする感染症です。